

ミッションの英語教育・留学制度

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院は、1885(明治18)年に創立しました。幼稚園から大学に継続する総合学園として、時代の変化に柔軟に対応する一方、キリスト教という普遍的な真理を掲げどこに、一人ひとりが自らの個性に気づき、自身の使命を実現できる進路へと導く教育を追求しています。

本号では北村あづさ英語科教諭に、北陸学院の英語教育や留学制度の概要を伺います。



北陸学院高等学校 英語科教諭

きた むら

北村 あづさ

Azusa Kitamura

国内の大学を卒業後、海外の大学(カナダ・英国)に進学。2011年より北陸学院高等学校に在籍。中学校や高校の英語科で教鞭を執り、毎年海外研修・留学プログラムの運営を担当。209H担任、進路指導部、国際理解教育委員会、華道部顧問。

に増えたことでさらに充実しました。

コロナ禍の授業は、発声にも細かな配慮が必要で、マスクをしているため発音指導なども難しいのですが、席を離してペアワークを行うなど、できることから徐々に進めています。このような中で、よりバランス良く4技能を取得してもらうために積極的に導入しているのが英語学習用のアプリです。通学バスの車中など、空き時間を有効活用してもらうのが狙いです。

以前から動画共有サイトを使った本校独自の音読教材を提供しており、本年度は実用英語技能検定向けアプリなどの導入を進めています。このアプリでは4技能のどれもが鍛えられる上、スピーキングなども自動採点できます。生徒たちは日頃からスマホに親しんでいるので操作もスムーズで、楽しみながら学べるのも良い点だと思います。

また、継続教育の良さを指導に生かしているのも本校の特長の一つです。中学校と高校は校舎が同じで職員室も共同、中高両方を担当している教員が多く、生徒の情報共有はもとより教科指導で協力しあうこともよくあります。たとえば、大学入学共通テストの長文読解対策として、中学生の段階で多読を取り入れたり、中学校での新たな動きをキャッチして高校の指導に生かしたり、継続教育だからできることを中高で追求しています。

留学は人間力も高めてくれる

異文化に触れ、世界について学ぶ国際理解教育も、本校の特徴的な取り組みです。その核となるプログラムが海外研

修・留学制度で、これは本校が他に先駆けて力を注いできたものです。一昨年度までは、夏休みを利用した「短期海外研修制度」と、約1年間の「長期留学制度」の2つで、どちらも留学先はカナダの姉妹校4校でした。しかし、短期研修の希望者が毎年定員を超過していることや、「本格的な留学体験をより参加しやすいプログラムで」との声が高まったことから、アメリカで約3カ月間学ぶ「ターム留学制度」が新設されました。

生徒の受け入れ先の学校とは、緊密な連携を図っているため、準備段階でも滞在中でも、直接連絡を取り合つてきめ細かにフォローできるので、生徒や保護者の方々にも安心していただけていると思います。

留学プログラムの運営に長らく関わってきましたが、毎回生徒が帰国するたびに、その成長ぶりに驚かされています。みんな瞳を輝かせて帰ってきますし、語学力だけでなく人間力も磨いてくるので、帰国後は他の生徒を引っ張っていく存在になることも多いですね。

中でもある卒業生は見違えるほどたくましくなつて帰国し、驚きとともに大きな喜びを感じたことを覚えています。その生徒は大学進学後もさらに努力して「全額支給奨学金」で再留学し、このことが本校の指定校推薦枠の拡充にもつながりました。留学先で苦労はなかったのかと尋ねると、「初めは落ち込んでばかりでしたが、そのたびに『何のために留学したのか』と、当初の目的に立ち返って自分を奮い立たせていました」との返事で、大変感激しました。これから留学をする生徒たちも、いろんな出会いを通して大きく成長してほしいですね。きっと



ALT主導の授業の様子。
会話を中心とし、生徒も積極的に参加します。

そこから未来が開かれると思います。

世界につながる学びを本校で

英語をはじめ他言語を学ぶことは、世界を知るための手段を得ることであると同時に、自分が今何を考えているかをもう一度考えること、また日本語や日本について見つめ直すことだとも思います。私自身もそうやって学んできており、世界を知るだけでなく、自分たちのことをもっと知る必要があることを生徒たちにも気づいてもらいたいのです。

本校には、英語圏はもとよりイスラム圏やアジアにも詳しい教員がいて、世界における英語の力をよく知る者が情熱を持って指導にあたっています。留学にも力を入れていますし、英語が好きな生徒が多いので、生徒同士が高めあえる学校でもあります。英語を通じて世界を広く知り、自分の思いを発信できるように becoming someone you can be proud of. の使命につながるものを本校で見つけてもらいたいと思います。

More Mission

モア ミッション!

実用英語技能検定試験 取得状況(2020年度北陸学院高校卒業生)

	準2級(%)	2級(%)	準1級(%)	合計
特別進学(108名)	51名(47%)	43名(40%)	2名(2%)	96名(89%)
総合進学(190名)	31名(16%)	3名(2%)	2名(1%)	36名(19%)
学年全体(298名)	82名(28%)	46名(15%)	4名(1%)	132名(44%)

● 特別進学コース：のべ 124 名取得 ● 総合進学コース：のべ 39 名取得

英語力を試す取り組み

北陸学院では、実用英語技能検定試験(英検)やGTECなどの外部検定試験を積極的に推奨しています。生徒も意欲的に取り組み、高校はもちろん、中学校でも2級や準2級に合格する生徒がいます。ALTIによる英会話の授業や英単語テストなど日々の取り組みの中で確かな英語力が身に付きます。

工夫を凝らして学ぶ楽しさを

高校の授業では、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の養成に力を入れています。4つをバランス良く指導しながら、苦手な生徒に自信を持ってもらうために、まず声に出す機会をできるだけ多く持つようにしています。また、週1回実施しているALT(外国語指導助手)主導の授業も、今年からALTが2名

英語を学ぶと選択肢が広がる

長年英語教育に力を入れてきたことから、北陸学院は「英語のミッション」と呼んでいただいています。10年前、県外出身の私が本校に着任したとき、英語を好きな生徒が大勢いることや、「英語のミッション」の呼び名に生徒も教員も誇りを持っていることを知り、頼もしく感じました。

英語はあくまでもツールに過ぎませんが、世界を知るためには大切なもので、英語力があれば進路の選択肢は間違いなく広がります。ただし、生徒全員が英語を好きになくわけではない、中には「英語が苦手だ」「嫌いだ」という生徒も少なからずいます。英語が苦手な生徒には、苦手意識を少しでもなくしてもらえるように、また、英語が好きな生徒にはさらに力を伸ばしてもらえるように、一人ひとりの様子を見つめながら丁寧な指導を心がけています。

英語は世界を知るツール。
視野を広げて未来を開く。

月刊北國アクトス2021年8月号掲載記事

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう

北陸学院中学校
北陸学院高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学/TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校/TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398



2021 OPEN SCHOOL

体験入学・クラブ体験のご案内

北陸学院高等学校

▶体験入学

2021年7月30日(金)

▶クラブ体験

2021年8月18日(水)

- 対象
中学3年生の生徒とその保護者
- 申し込み方法
各中学校にお問い合わせください。

北陸学院中学校

▶体験入学

2021年7月24日(土)

- 対象
小学5・6年生の児童とその保護者
- 申し込み方法
本校ホームページからお申し込みください。

先輩たちが
ご案内!国際理解教育が
さらにパワーアップ!

136年前に宣教師メリー・K・ヘッセルが北陸学院を創立して以来、本校は国際理解教育に力を入れてきました。

2021年度からは、希望者向けの研修・留学制度をさらに充実させます。

柔らかな感性を持つ10代に多文化に触れることは、自由に使える語学力とともに、世界に対する「開かれた心」を育みます。

新型コロナウイルスの影響により、2021年度の研修(短期)・留学(長期)は中止とします。ターム留学(3か月)は今後の状況により中止になる場合があります。

POINT① ホームステイで実際の暮らしに触れる

POINT② アメリカやカナダの歴史を直に体感

POINT③ 現地校生徒との交流を通して、英語力を磨く

POINT④ 現地コーディネーターとの連携で安心



Pick up

中学校修学旅行が
シンガポール・
マレーシアに!

感性が鋭い中学生のうちに、生徒全員が異文化を体験できるプログラムを設けました。生徒全員が「世界の中にいる自分」を実体験できます。(2020年度入学生から実施)

	短期海外研修制度	ターム留学制度	長期留学制度
中学校	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1~3年生 ●期間 夏休み中の約2週間	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1~2年生 ●期間 12月下旬~3月(約3か月)	
高等学校	カナダ (ブリティッシュコロンビア) ●対象 1~2年生 ●期間 夏休み中の約2週間	NEW アメリカ (オレゴン) ●対象 1~2年生 ●期間 12月下旬~3月(約3か月)	カナダ (ブリティッシュコロンビア) ●対象 2年生のみ ●期間 約1年間

確かな結果へとつなげる

大学への「進学力」

本校の進路指導は、生徒の志望や個性を尊重しながら実現へと導くことが特長です。
入学時より実践的な講習会を開催するなど、早い段階から卒業後の姿を意識させ、進路に向かってどんな学習が必要なのかを具体的にしていきます。きめ細やかな指導により、現役の4年制大学進学率が例年約70%と、一人ひとりが志望する進路へ歩みを進めています。

北陸学院高等学校卒業生の主な合格実績

(2017年度~2020年度卒業生)

関西地区

奈良女子大学
同志社大学
関西学院大学
京都ノートルダム女子大学
神戸学院大学
桃山学院大学
大阪青山大学
立命館大学
近畿大学

北陸地区

北陸学院大学
金沢大学
金沢美術工芸大学
富山大学
石川県立大学
石川県立看護大学
公立小松大学
金沢医科大学
金沢工業大学
金沢医療センター附属金沢看護学校

留学

Sprott Shaw Language
College(カナダ)
延世大学校(韓国)

北海道地区

北海道大学

関東地区

筑波大学
明治学院大学
青山学院大学
関東学院大学
国際基督教大学
聖心女子大学
東京女子大学
東洋英和女学院大学
フェリス学院大学
立教大学
大妻女子大学
昭和音楽大学
國學院大学
白百合女子大学

東北地区

奥羽大学
東北学院大学

東海地区

愛知東邦大学
金城学院大学
中京大学
中部大学
東海大学

同志社大学

関西学院大学

明治学院大学

特別推薦枠で
憧れの難関私立大学へ!

本校は同志社大学に16名、関西学院大学に23名、明治学院大学に6名の特別推薦枠を有しています。実際、2021年度入試結果においても、同志社大学に11名、関西学院大学に12名、明治学院大学に5名の合格者を輩出。県内でこれらの大学に最も近い学校といえます。他にも全国におよそ140大学・約700名の指定校推薦枠を有しています。

※募集枠は毎年変更があります。詳しい指定校一覧はHPよりご確認ください。

中学生が取り組む!



留学への準備にもなる、日々の学び



世界には多様な文化があり、考え方や生き方もさまざま。日頃から生徒たちに関心を持ってもらえるように、各取り組みを実施しています。

アイテム!



各国の専門家や教員が、その国の文化や食べ物、宗教の違いなどを紹介。自国と比較しながら、国際理解を深めます。(各学期1回ずつの実施)

講演例 〈2021年度1学期開催〉
テーマ:パゴダの国 ミャンマー

生徒インタビュー
新しいものと昔のものが混じり合い、新たなものとして認め合うことが大切だと感じました。紹介されていたミャンマーの楽器や世界遺産についてさらに調べてみたいです!
中学3年・女子

レッツ speak English!



さまざまな国籍の方をお招きして英語でインタビューします。英語の楽しさを実感し、聞く・話す力を習得します。(各学期1回ずつの実施)
※2020年度はリモート通話で実施。

生徒インタビュー
アメリカの方に兼六園や近江町市場を紹介しました。相手から反応が返ってくることで、自分の英語が伝わっている実感が湧きました!

中学2年
古瀬 ひなの さん

月刊北國アクトス2021年8月号掲載記事

北陸学院中学校
北陸学院高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学/TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校/TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398


<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう